

平成16年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	30	学校名	県立勝田高等学校			課程	全日制		学校長名	白石 直之						
教頭名	小林 勉							事務(室)長名	古内 浩平							
教職員数	教諭	36	養護教諭	1	常勤講師		非常勤講師	1	実習教諭, 実習講師, 実習助手	1	事務職員	3	技術職員等	2	計	47
生徒数	小学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	普通科		106	94	109	91	141	95			356	280	16			
	科															

2 目指す学校像

心身ともに健やかで、気力に満ちた有為の人間を育成することに努める。
また、自立心を伸長し、公正な判断力と健全な批判力とを高め、豊かな人間性を培うことに努める。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	概ね積極的に学習に取り組んでいるが、一部に学習意欲に欠ける者が見受けられる。	学習意欲に欠ける者を含めて、生徒全体の学力向上にどう取り組むか。
進路指導	一昨年度に比べ、国公立合格者数が減少した。また、大学合格率も低下の傾向にある。	国公立及び有名私立大学の合格者をどう増やすか。
生徒指導	特別指導を受けた生徒の数は減少したが、頭髪等では同じ者が繰り返して指導を受けている。	公德心や規範意識の高揚に、学校全体としてどう取り組むか。
特別活動	生徒会、部活動は活発であるが、一部を除き、各種委員会活動が不活発である。	各種委員会への主体的な参加及び活動を、どのように促進するか。

4 中期的目標

1	個に応じた学習指導を充実させ、自発的に学習に取り組む意欲の向上に努める。一人一人の能力の開発と、基礎学力の向上に努める。
2	生徒の実態把握に努め、全職員が共通理解のもとで指導に当たる。校訓や交通規則を遵守し、自他の生命を尊重する態度・意識の高揚を図る。
3	組織的、計画的、継続的な進路指導の充実に努めるとともに、課外学習の充実に努める。
4	生徒会活動や部活動等をより充実させ、自主・自立の精神を養い、体力・気力の充実に努める。
5	校内外での奉仕体験活動等をとあして、豊かな人間性や社会性を育む。

5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次	基本的な生活習慣の確立	制服をきちんと着用させるとともに、校則（特に茶髪、ピアスの禁止）を守ることを重点的に指導する。奉仕体験活動等をとあして、豊かな人間性・社会性を養う。	
	進路意識の育成	「進路ノート」等を利用して、進路意識の向上を図る。また、「総合的な学習の時間」を積極的に活用する。	
	基礎学力の確立	授業を重視する態度を養うとともに、週末課題や補習・模試を積極的に活用する。	
	保護者との連携・協力体制の確立	保護者会を実施する。また、成績・欠席等で問題のある生徒については、速やかに家庭訪問を行う。	
2年次	基本的な生活習慣の確立	定期的な服装・頭髪指導を行い、校則を守る態度と意識の育成を図る。また、清掃や奉仕体験活動等により、豊かな心の育成を図る。	
	進路意識の育成	長期休業中及び土曜日の補習、模試を計画的に実施する。個別面談を積極的に行い、進路希望の把握に努める。	
	基礎学力の定着	週末課題を定期的に出題し、基礎学力の定着を図る。また、成績不振者に対しては、補講等により粘り強く指導する。	
	保護者との連携・協力体制の確立	保護者会を実施し、進路情報等を的確に提供する。必要に応じて、速やかな家庭訪問を行う。	
3年次	基本的な生活習慣の確立	定期的な服装・頭髪指導を行い、校則を守る態度と意識の育成を図る。また、清掃や奉仕体験活動等により、豊かな心の育成を図る。	
	進路意識の育成	学年だよりを定期的に発行し、進路情報の提供に努める。個別面談を積極的に行う。	
	学力の向上	放課後及び長期休業中の補習、模試を計画的に実施する。特編授業により、学力の一層の向上を図る。	
	保護者との連携・協力体制の確立	保護者進路説明会を開催し、保護者の進路に関する意識の高揚を図る。必要に応じて、速やかな家庭訪問を行う。	